

島田市新庁舎等整備基本計画審議会 第1回会議 議事概要

1 日時 平成30年10月29日（月） 午後7時～午後9時

2 場所 島田市役所本庁舎4階 第3委員会室

3 出席者

(1) 委員

石川委員、伊藤委員、大石委員、海道委員、木下委員、兒玉委員、
佐久間委員、重川委員

(全員出席)

(2) 市

市長、萬屋副市長、行政経営部長、資産活用課長、資産活用課職員7人

4. 概要

(1) 開会

(2) 委嘱状交付 市長から、各委員へ委嘱状が交付された。

(3) 市長あいさつ

現在の市役所本庁舎は昭和37年に建設されてから56年が経過し、一定の耐震性能を有しつつも設備の老朽化が著しく、こうした課題を踏まえ建替えについて決断し、「市民の安全・安心を支える庁舎」という基本方針と併せ、「利用者にやさしい庁舎」、「経済的・効率的で環境に配慮した庁舎」という3つの整備方針を島田市役所周辺整備基本構想の中で設定した。

一方、現庁舎を建設した昭和37年当時とは行政を取り巻く環境も大きく変化し、人口減少や厳しい財政状況という今日の課題を踏まえつつ、「賢く持って、賢く使う」という「公共施設マネジメント」の理念に沿って、何十年か先の市民にとって価値のあるものを生み出せるよう、今こそ知恵を絞る時であると認識している。

本審議会と並行して「市民ワークショップ」を開催し、新しいアイデアを出していただく予定であることから、こうしたアイデアや想いを汲み取りつつ、専門的な視点から御審議いただくようお願いを賜りますようお願いいたします。

(4) 委員自己紹介

(5) 会長・副会長選出

委員の互選により、海道委員が会長、伊藤委員が副会長に選出された。

会長あいさつ

「基本計画ということで、具体的な建物や周辺地域のことを検討することになる。

基本構想を踏まえ、皆様と一緒に色々な角度から議論していきたい。」

副会長あいさつ

「会長を補佐して、一生懸命やらせていただきたい。よろしくお願いします。」

(6) 議事

1. 諮問

島田市新庁舎等整備基本計画審議会条例第2条に基づき、市長から諮問書が海道会長へ手渡される。

諮問事項

- 1 新庁舎整備基本計画の策定に関する事
- 2 その他新庁舎整備に必要な事項に関する事

2. 報告事項

①本審議会役割

事務局から、資料に基づいて、本委員会の役割について説明がされた。その後、委員から出された主な意見は以下のとおり。

- ・基本構想で、かなり幅広く議論された。今回も庁舎の建物だけでなく、周辺のことについても議論しなければならないと考える。

②本審議会の協議の進め方

事務局から資料に基づいて説明がされた。

その後、委員から出された主な意見は以下のとおり。

- ・市民ワークショップのテーマ検討がタイトなスケジュールの中で非常に重要になると思う。基本構想でのワークショップの意見も反映しながら、テーマの項目を出したほうが良いと考える。
- ・基本計画策定業務内の⑧木材利用計画について、近年、木造の大規模構造建築物ができるような法改正があったり、技術的、材料的な発展があり、内装に限らず構造にも木材を取り入れた検討をしてほしい。

③これまでの経過と前提条件の整理

事務局から資料に基づいて説明がされた。

その後、委員から出された主な意見は以下のとおり。

- ・新庁舎をメインで使う職員の居住性を高めることが業務の効率にも非常に重要だと思う。
- ・建築計画を考える際には利用する人数を想定して面積を設定する。職員数の想定が今後の少子高齢化の中、島田市の10年20年後の部局構成も含めた全体構想の将来形を検討し、それに基づく建築になるのが理想形であると思う。
- ・高齢者の方は、複数の部署を回るので、効率的に負担なくサービスを受けられるような、部署の配置が重要となる。また、相談スペースを共有する形にすれば、スペースの削減が可能となる。
- ・あるべき姿の項目の中に「防災対応拠点」とか「復旧復興の拠点」とある。災害時は普段の業務に加え、災害対応という2つの業務を行なうことになり、外部からの応援が来れば、会議室等の空きスペースの奪い合いになる。いざという時に使えるスペースの確保が必要ではないか。
- ・建物の外でも外部の応援の人が集まる、資材・救援物資を積み上げる、テントを張るといった空間の使い方の検討が必要だと思う。
- ・市民向け機能のところで、キッズコーナーを設けるとして、子育て中の世代への配慮が見られるが、将来的に増加していく高齢者等の人口比率が多い世代に向けた機能が無いように思える。
- ・今後のペーパーレス化を今回の計画ではどの程度加味されて行くのか。
- ・賑わいに関して、庁舎には情報発信の機能さえあればよいと考える。具体的には、1階のフロアに種類別にパネルなどにより情報発信しつつ、非常時には1つのフロアとして使えるのが良い。
- ・建物の中に何でも詰め込んでしまうと、まちを取り込んでしまうマイナス面が考えられる。プラザおおりの執務空間が庁舎に取り込まれるので、大きなスペースが空く。審議会では庁舎とプラザおおりの関係、庁舎とおおりの間のスペースの使い方について新しい提案をしてほしい。
- ・教育委員会において、小中学校の減少に伴う統廃合を行なっている。新庁舎においても、今後の人口減少を踏まえた機能やスペース、規模を考えていく必要がある。
- ・新庁舎整備事業によって将来の負債を抱え込むことから、ファシリティマネジメントやランニングコストなど詰めた検討をしてほしい。

(7) その他

次回日程の調整

候補日を1月の下旬の3日を挙げたが、その場での調整が困難なため、あらためて各委員にメール等で調整することとした。

開会時間については、いずれも19時とする。